

【ご案内】

「家庭科の授業を語る会（第202回）」の開催

風薫る気持ちの良い季節になりました。連休も明けて皆さん、ご活躍のことと思います。

さて、先月の「家庭科の授業を語る会」は、「錦本町ひなたキャンパス」で開催してみましたが、使い勝手があまり良くなかったため、語る会は、これまで通り大学の技術・家庭科棟でハイブリッド開催します。

5月の話題提供は、この春に附属中学校に着任されました衣笠先生にお願いしました。これまで実践されてきた実習授業について、調理実習を中心にお話しいただきますので、皆さん、小・中・高校の校種を越えて、どうぞお気軽にご参加下さい。

●日時：2025年5月17日（定例の第3土曜日） 午後2時から午後4時（参加費：無料）

●場所：宮崎大学教育学部 技術・家庭科棟 T211教室

Zoomでのご参加は、下記のアドレスに接続下さい↓

<https://us02web.zoom.us/j/82555748274?pwd=PGhkoWy4Nff2eigG9GYazWimO5rYa5.1>

○ミーティング ID: 825 5574 8274 ○パスコード: 1Bbg6u

●話題：日常生活での実践につながる実習授業の在り方

●話題提供者：衣笠 萌木（宮崎大学附属中学校）

「家庭科の授業を語る会（第201回）」（2025年4月19日）の報告

○話題：「主体的に生涯を見通す力を育む高等学校家庭科

○話題提供者：梨岡さくら（宮崎大学大学院生）

第201回の「家庭科の授業を語る会」では、大学院生の梨岡さくらさんが話題提供しました。

成人年齢が18歳に引き下げられ、自分の意志で契約できるようになった一方で、高校生は金融に関する知識や経験が浅いことや日本は諸外国に比べて金融リテラシーが低いという社会の現状があります。また、「お金」は生活全体に関わってくるものにもかかわらず、家庭科教育においても領域ごとに分けて学習していることにより、領域が互いに関わりあっていることに気付いていないという課題があります。そこで、高等学校家庭科のA領域（人の一生と家族・家庭及び福祉）とC領域（持続可能な消費生活・環境）の内容を融合させた授業を提案されていました。

全5時間のうち、1次・2次では現在の自分についてふりかえり、将来の見通しを立てる時間とし、3次～5次では自分のこれからの生き方について具体的な見通しを立てる時間とされていました。特に印象的だったのは、第1次の最近自分で買った物に関して“満足度”を付けさせる活動です。支出項目に対して満足度を5段階で評価させ、その理由まで書くようになっていました。そうすることで自分のお金の使い方を他者と相互作用しながら具体的に評価することができ、現在の課題に気付くことができるよう工夫がされていました。私も、授業プランを立てる際には、子どもが今の自分を客観的に評価できるような工夫を行い、その後の課題設定に繋げていきたいと思いました。

（文責：御手洗）

連絡先：家庭科の授業を語る会（事務局）

〒889-2129 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学家政教育講座内

伊波 富久美（大学院教育学研究科）：Tel/Fax 0985-58-7539（直通）

：メールアドレス e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp

●「家庭科の授業を語る会」のホームページ：<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>